

救急部

●体制

時間内の救急外来は2名の救急部専属の医師（日本救急医学会指導医）が対応している。1次救急から3次救急まで救急患者の初期診療を行っているが、より専門的な治療、技術が必要な場合には各科の救急担当医がそれに当たる。循環器センター（CCU）と脳神経外科（頭部外傷を含む）は大阪府の第3次救急医療施設として認可されており、365日24時間体制で重症患者の受け入れを行っている。

夜間（時間外）、休日は内科系医師3名、外科系医師2名、研修医3名の計7名が救急外来の担当医として日当直を行う。さらに循環器内科、脳神経外科、産婦人科、小児科、麻酔科は毎日単科で当直に入っており、総数13名の医師が当直している。また、すべての科は当直時間帯にも専門科医が治療を行うことができるようバックアップ体制を敷いている。

当直医は当直時間帯での業務に関しては当直業務マニュアルに則って行っており、研修医への教育、指導体制も整えている。

救急部は総合内科とともに総合診療センターを構成し、病院内の初期診療への対応に力を入れている。

●スタッフ

- ・部長 木内俊一郎
- ・副部長 新谷 裕

●実績

	単位	平成23年度	平成22年度
救急患者総数	人	23973	23818
救急車搬送受入れ総数	件	7696	3422
救急部経由入院患者総数	人	4717	2937
来院時心肺停止患者数	人	63	58

学会発表

- 1 新谷 裕、木内俊一郎 縦隔気腫13例の検討 日本臨床救急医学会総会 2011/6/14
- 2 新谷 裕、木内俊一郎 急性薬物中毒患者を外来診療のみで帰宅させた症例の検討 日本中毒学会総会 2011/7/30(岐阜)
- 3 新谷 裕 一般演題9 医薬品3 座長 日本中毒学会総会 2011/7/31(岐阜)
- 4 新谷 裕、木内俊一郎 誤飲PTP（圧迫包装薬包）の局在診断にCTは有用である 日本救急医学会総会 2011/10/18(東京)

論文発表

1. 新谷 裕 木内俊一郎 当院で経験した特発性縦隔気腫10例の検討. 救急医学 2011 ; 35(6) : 730—733
2. 新谷裕, 木内俊一郎 ソルビトール2回目投与の効果 中毒研究 2011 ; 24(4) : 303-304

書籍

1. 新谷裕 中毒性疾患 天然ガス・プロパンガス中毒 今日の治療指針 2012年版 133 2012